

第 1 2 回新市建設計画策定小委員会（議事概要）

日 時 平成 15 年 3 月 19 日（水）PM2：30～PM4：07

場 所 弥栄町役場

出席者数 19 人（欠席 1 人）

傍聴者数 1 人

主な議題

（1）協議第 1 号 新市建設計画について

（2）次回の議題について

（3）次回の小委員会の日程等

議事経緯

委員長あいさつ

会議の成立確認

議題

（1）協議第 1 号 新市建設計画について・・・**継続協議**

主な意見

六町全体の発展に資するまちづくりの重点テーマと主要事業の整理

委 員 学校教育・社会教育の中で、「教員の資質の向上」となっているが、教育現場には先生や事務職員、給食調理員さんも全て生徒に接するので「教職員の資質の向上」とした方がよい。

委 員 地域学習プログラムの中に「市誌編纂事業」というのがあるが、これは歴史資源保存事業に位置づけた方がよい。

委 員 市民参加のまちづくりの中で、「すべての人の社会参画支援事業」とあるが、現在男女共同参画社会は大きなテーマになっており、府内の市では全て男女共同参画計画というのも持っている。ここに、「男女共同参画」という言葉を明確に位置づけたらどうか。

委 員 学校教育・社会教育の充実の中で、「高度な芸術・文化・スポーツ体感の場創出事業」とあるが、もうひとつピンとこないので検討してほしい。また、小中学校等施設整備事業の中に、「学校配置の適正化、通学区域の弾力化の検討」とあるが、これは整備とは関係なく、一つの大きな項目とした方がよいのではないか。

委 員 商工業、観光交流の振興の中に、それぞれ商工会、観光協会との連携という文言をいれたらどうか。

町 長 医療体制の充実の中に高度医療機器整備事業とあるが、住民の脳外科、心臓外科の設置といった高度医療への要望を踏まえ、丹後・与謝地域の中で府立与謝の海

- 病院に要望していくといった内容を入れたらどうか。
- 委員 病院については、一つのところを突出させるのではなく、それぞれに特徴を持たせたらどうか。
- 委員 救急・休日医療体制確保事業とあるが、夜間診療などを充実させる必要があるのではないか。
- 町長 医師確保の難しい中、現状では当直していただいた医師に次の日も診察をしていただいている。こうした診療体制の中では、夜間診療というのは非常に難しく、時間内及び救急で対応していかなければならない。
- 委員 学校教育や保健・福祉体制に出てくる、「幼保一元化等の保育・就学前教育の高度化の検討」とあるが、「高度化」という表現は不適切ではないか。

新市建設計画（素案）について

- 委員 新市建設計画（素案）の中で、「くらし」という言葉が、漢字であったりひらがなであったりまちまちである。また、新市の都市構造の中にある「地区核」という言葉を、もっと違った表現にできないか。観光的視点を中心とした地域資源の分布の中で、歴史資源に伝説しかあがっていない。
- 委員 自然資源の中に、丹後町の経ヶ岬や久美浜湾の四季などは入らないか。主な公共・公益施設については、もっと具体的に出すべきではないか。そして「峰山町に集中」とあるが、「峰山町を中心に」といった表現にできないか。
- 委員 目次の中で、新市の主要施策の中身は、国・府の管理道路や事業のことが出ているので、わざわざ京都府の事業を単独の見出しとせず、新市の主要施策の中に位置づけたらよいのではないか。
- 部会 京都府の事業は、建設計画の中でも大きな位置を占めるものであり、合併特例債も府と市にそれぞれ認められるわけであり、また事業の性格が違う。他の先進事例もそうなっているように、京都府の事業は別立てとしている。
- 委員 策定の方針や六町の概況など、もっと住民にわかりやすい文章とならないか。
- 町長 町の総合計画では文章表現より数字を多用し、新市建設計画についても他の先進事例から概況等を詳しく書く必要はないと考えるが、六町の合併ということで多少表現しており、こういうものだと理解していただきたい。
- 委員長 継続協議とする。

（２）次回の議題について

新市建設計画について

（３）次回の小委員会の日程等

第 13 回新市建設計画策定小委員会

日程 平成 15 年 4 月 15 日（火） 午後 1 時 30 分より

場所 峰山町役場

文責 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会事務局

（速報のため、事後修正の可能性あり）